

# 二宮町防災ガイドブック

保存版  
2017.3

## Ninomiya Town Disaster Prevention GuideBook

地震、津波、集中豪雨等に土砂災害や河川の氾濫といった自然災害は、いつどこで発生するか予測は難しく、また我々の力でとめることもできません。

二宮町では、【一人の犠牲者も出さない】ことを目標に防災対策を推進しております。この目標の達成には、町民のみなさんが平常時から災害に対して十分に備え、災害時の適切な避難行動を把握していただき、自助・共助による取組みの強化を図っていくことが重要です。

この「二宮町防災ガイドブック」は、【自助・共助による取組み】を行うために必要な防災に関する様々な情報をまとめたものです。ご家庭や自主防災組織でこのガイドブックを活用し、防災対策を進めていただきますよう、ご協力をお願いします。

お住まいの地区により、詳細な取決めについて異なる場合がありますので、地区の防災訓練への参加や取決めの確認もしましょう。

### ■ 家族で防災会議を開こう!

災害に備え、家族で身を守る方法を話しあっておきましょう。

また、勤務先や学校等への外出時に被災した場合の連絡方法等について確認しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 役割分担の確認	<ul style="list-style-type: none"><li>● 火の始末やブレーカーやガスの元栓を止める係、非常持出品の準備など、日常の防災対策上の役割と地震発生時の役割</li><li>● お年寄りや乳幼児は誰が助けるのか</li></ul>
<input type="checkbox"/> 危険箇所のチェック	<ul style="list-style-type: none"><li>● ブロック塀や門柱に老朽化などの問題はないか</li><li>● 屋根瓦やアンテナに危険はないか</li><li>● ベランダの植木鉢等は落下しないように固定されているか</li><li>● プロパンガスのボンベは鎖で固定されているか</li></ul>
<input type="checkbox"/> 安全な空間の確保	<ul style="list-style-type: none"><li>● 家の中に家具のない安全なスペースを確保しているか</li><li>● 寝室や居間などの大型家具には、転倒を防ぐ対策をとっているか</li><li>● 出入口や通路に物を置いていないか</li><li>● ガラスには飛散防止フィルムを貼っているか</li></ul>
<input type="checkbox"/> 非常持出品のチェック	<ul style="list-style-type: none"><li>● 必要な品はそろっているか</li><li>● 保存状態や使用期限は適切か</li></ul>
<input type="checkbox"/> 防災用具等の確認	<ul style="list-style-type: none"><li>● 消火器や救急箱の置き場所について</li><li>● 消火器の使い方、応急手当の方法を覚えているか</li><li>● 住宅用火災警報器を設置しているか、正常に作動するか(寝室等は設置義務)</li></ul>
<input type="checkbox"/> 連絡方法や避難場所の確認	<ul style="list-style-type: none"><li>● 家族が離ればなれになった時の連絡方法について</li><li>● 避難経路・避難場所を確認しているか</li></ul>

災害時も  
自宅で生活することが  
目標です

- 避難所で生活を続けていくことは、大変不自由なことです。ストレスや過労から体調を崩してしまうこともあります。
- 自宅だとプライバシーが守れるなど、精神的な負担も少なくなるので、自宅が安全なら、住み慣れた自宅に戻り生活を続けましょう。

### 目次

P1	地震から身を守る	P8	我が家でできる風水害対策
P2	津波から身を守る	P9	避難に関する知識
P3	地震火災を防ぐには	P10	地震の時の避難
P4	我が家でできる地震対策	P11	風水害の時の避難
P5	風水害から身を守る	P12	避難の際には
P6	洪水・浸水から身を守る	P13	地域ぐるみで防災対策
P7	土砂災害から身を守る	P14	いざという時の連絡先など

# 地震から身を守る

大きな地震が発生したら、冷静に対応するのは難しいものです。しかし、一瞬の判断が生死を分けることもあります。

地震が起きても【あわてず、落ち着いて】行動するために、標準的な行動パターンを覚えておきましょう。

## 地震発生

### ◆地震を感じたら直ちに避難行動へ

強い揺れ(震度5弱以上)が始まる数秒から数十秒前に、テレビやラジオ、町の防災行政無線や携帯電話等で「間もなく強い揺れがくること」を知らせてくれます。ただし、震源に近い地域では、強い揺れに間に合わないことがあります。

### ◆落ち着いて、自分の身を守る

机の下に隠れるなど、まずは身を守ることを第一に!



### ◆すばやく火の始末

揺れが激しい時は無理をせず、大きな揺れがおさまってから火の始末を!

### ◆ドアを開けて逃げ道を確保する

### ◆海岸近くや津波の危険が予測される地域はすぐに避難

1~2分

### ◆火元を確認し、出火していたら初期消火

### ◆家族の安全を確認

### ◆靴を履く ガラスの破片などから足を守るため!

### ◆非常持出品を手近に用意する



3分

### ◆隣近所の安否を確認

特に一人暮らしの高齢者などの避難行動要支援者がいる家には積極的に声をかけ安否確認!  
(避難をした場合は、黄色いハンカチ等を掲示 ※【黄色いハンカチ】(P12)参照)

### ◆余震に注意

大きい揺れがおさまった後にも、大きな揺れが起こることもあるので要注意!

5分

### ◆さらなる出火防止を

ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る!

### ◆家族を迎えに行く

自宅を離れる時は行き先を書いたメモを目立つ場所に残す!

(避難をした場合は、黄色いハンカチ等を掲示 ※【黄色いハンカチ】(P12)参照)

10分~数時間

### ◆消火・救出活動・安否確認

近隣住民と協力して消火や救出活動を! 家族・隣近所の安否確認!

### ◆ラジオなどで正しい情報を確認

### ◆我が家の安全を確認

家屋倒壊やがけ崩れのおそれがある場合はすぐ避難!



~3日ぐらい

### ◆引き続き余震に注意

### ◆生活必需品は備蓄でまかなう

### ◆壊れた家には近づかない

### ◆災害情報・被害情報の収集 近くの災害時地区本部や広域避難所等で情報を入手!

### ◆家屋倒壊のおそれがある場合は指定避難所で生活

# 津波から身を守る

※二宮町ハザードマップ【津波浸水想定図】参照

津波は、海域での大きな地震により海底地形が大きく変動し、直上の海水が大きく盛り上がることで発生します。津波が陸地に達すると、人や建物を巻き込んで多大な被害をもたらします。

## ■ 津波の危険とは

### ◆ 海岸近くで地震を感じたら直ちに避難

強い地震（震度4程度以上）や長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう！

### ◆ 揺れが小さくても油断はしない

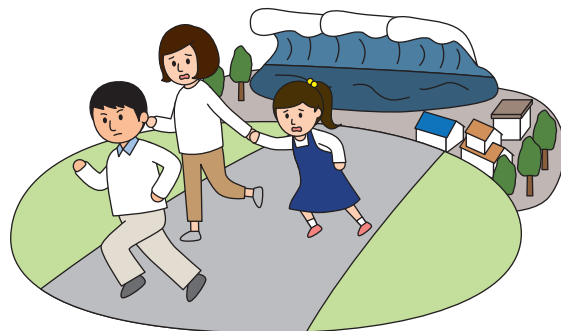
感じた揺れ（震度）と地震の規模（マグニチュード）は別です。小さな揺れでも大きな津波になることもあるので、決して油断してはいけません！

### ◆ 津波のスピードは

津波の伝わる速さは、数百km/hにもなる場合があります、津波が見えてからでは逃げ切れません！

### ◆ 津波は繰り返し襲ってくる

第1波よりも第2波、第3波のほうが高くなる場合があります。荷物をとりに戻ったり、様子を見るために海岸や河川へ近寄るのは危険です！



### ◆ 正しい情報で冷静な行動を

テレビやラジオ、町の防災行政無線などで正しい情報を入手し、冷静な行動をとりましょう！

## ■ 津波に関する情報の種類

- 気象庁では、大きな地震が発生した場合、津波が発生するかどうかを解析し、津波による災害が予測される場合には、地震発生から約3分を目標に「津波警報・注意報」を発表し、津波の到達予測時刻や予想される津波の高さなど津波に関する詳細の情報（津波情報）を発表します。なお、津波による被害のおそれがない時には「津波予報」を発表し、その旨を知らせます。
- 津波警報・注意報は、予測される津波の高さに応じて以下の3種類があります。

種類	発表基準	津波情報で発表する津波高さの予想		津波警報・注意報を見聞きした場合にとるべき行動
		数値での発表 (予想の区分)	巨大地震時の 第1報	
大津波警報	予測される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m~)	巨大	陸域に津波が襲い、津波の流れに巻き込まれるおそれがあるため、沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所に避難する。 警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
		10m (5m~10m)		
		5m (3m~5m)		
津波警報	予測される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m~3m)	高い	
津波注意報	予測される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下で、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m~1m)	(表記しない)	陸域では避難の必要なし。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れる。海水浴や磯釣りは危険。 注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしない。

# 地震火災を防ぐには

地震により、火災が発生する可能性があります。阪神・淡路大震災では大規模な火災が発生しました。

神奈川県が実施した地震被害想定(平成27年3月)によると、二宮町では最悪のケースで1,310棟(町の約1割)が焼失すると予測されています。

地震による火災を防ぐためには、まず各家庭から出火させないことが重要であり、万一出火しても、初期段階で消し止めることを心がけ、延焼を防ぎましょう。

## ■ 地震火災への備え

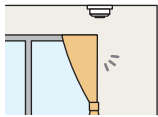
### ①火の元を確認する

離れる場合は火の消し忘れに注意する。地震の際は、揺れがおさまってから、火の元を確認する。



### ②住宅用火災警報器等を設置する

出火を知らせる住宅用火災警報器、地震直後や通電時の火災を防ぐ感震ブレーカー等を設置しておく。



### ③ストーブのまわりに物を置かない

ストーブのまわりに洗濯物等の可燃物を置かないことが重要。



### ④カーテン等を防災品にする

カーテンやじゅうたん等を防災品にしておくことで、着火しにくくし、燃え広がるのを防ぐ。



### ⑤消火器を用意しておき、使い方を覚える

出火した場合、早めに消火できれば、被害は大幅に軽減できる。

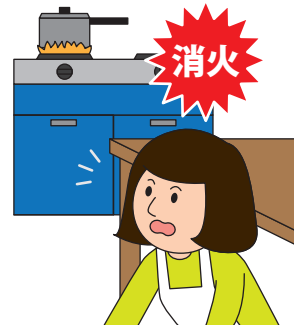
## ■ 地震の際の消火のタイミング

地震火災による被害を防ぐには、消火のタイミングが3つあるとされています。身を守ることを優先して対応しましょう。

### 緊急地震速報を聞いた時 グラツときた時



### 大きな揺れが 収まった時



### 出火した直後



## ■ 出火してしまったときの初期対応3原則

### ①大声で知らせる

- 「火事だー!!」と大声で叫んで家族や近所に知らせる
- 必要に応じて119番通報を依頼する

### ②初期消火をする

- 出火直後の初期消火が重要
- 落ち着いて、素早く消火器等で消火活動を行う

### ③避難する

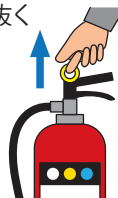
- 火が天井まで達したら初期消火は困難
- 煙を吸い込まないように、ハンカチ等で鼻と口を覆い姿勢を低くして避難する

## ■ 消火器の使い方

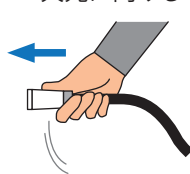
※誰もが見やすく取り出しやすい場所に設置しておきましょう

1 消火器を持って使用する場所に移動

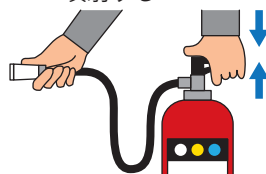
2 安全ピンを上にも強く引き抜く



3 ホースを外して火元に向ける



4 レバーを強く握り噴射する



### 消火のポイント

- 風上にまわり炎の熱や煙を避けて構える
- 屋内では出入口を背にして避難路を確保
- 炎を狙うのではなく、燃えている物に向かってホースを左右に振りながら噴射

# 我が家でできる地震対策

家の中には地震が発生すると、危険になる物がたくさんあります。地震のときに屋内の家具が倒れ、避難しようとしたときに出口をふさぐようなこともあり、日頃から家具を固定するなどの安全対策が必要です。また、家の周囲にも地震が発生すると危険なところがたくさんあります。

日頃よりできることから実践し、絶えず見直ししながら安全性を高めていきましょう。

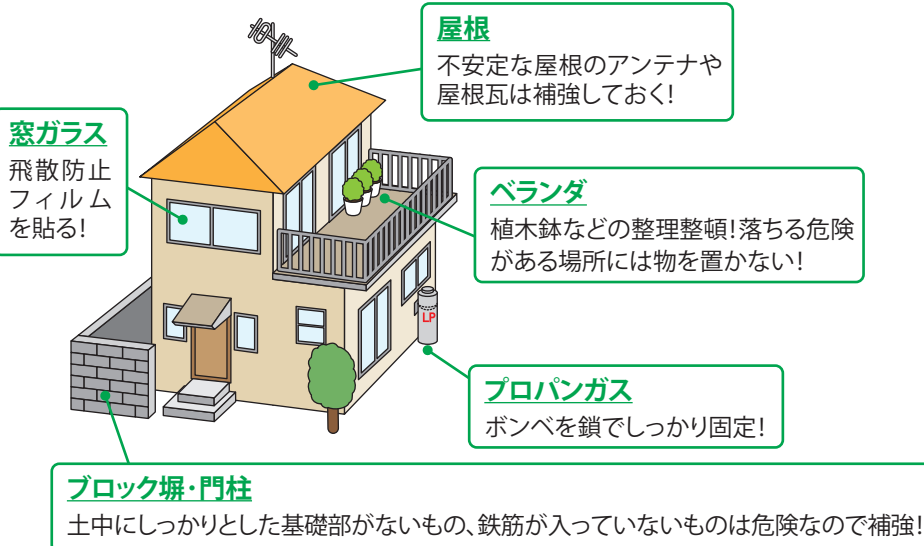
## ■ 家の安全対策

### ◆住宅の耐震化

昭和56年5月以前に着工された建物は、耐震診断や補強工事を行ってください!

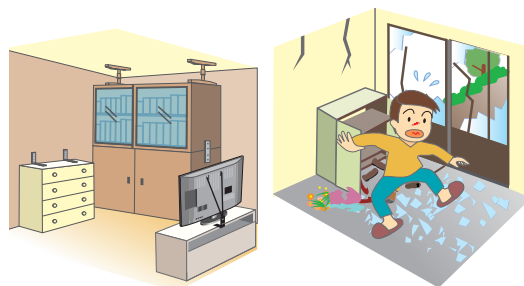


### ◆屋外の安全対策



### ◆屋内の安全対策

- 通路や出入口付近には家具や荷物を置かない!
- 家具と壁や柱の間に空間を作らない!  
また、L字金具・連結用金具や家具転倒防止器等を利用して転倒や移動を防ぐ!
- 窓はもちろん、食器棚や額縁等のガラスにも忘れずに飛散防止フィルムを貼る!



## ■ 地震の揺れと被害

### 震度4

- 眠っている人のほとんどが目覚めます
- 部屋の不安定な置物が倒れる



### 震度5弱

- 家具が移動したり、食器や本が落ちたり窓ガラスが割れることがある



### 震度5強

- タンスなどの重い家具や、外では自動販売機が倒れることがある
- 自動車の運転は困難



### 震度6弱

- 立っていることが難しい
- 壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる



### 震度6強

- 立ってられず、這わないと動くことができない
- 重い家具のほとんどが倒れ、戸がはずれて飛ぶ



### 震度7

- 自分の意志で行動できない
- 大きな地割れや地すべり、山崩れが発生する



# 風水害から身を守る

大雨や台風は、規模や時期をある程度まで予測することができますが、局地的な豪雨などで急激に状況が変わることもあります。油断することなく、異変を感じたらすぐに対応するなど、災害から命を守ることができる行動を考えておきましょう。

なお、住宅の位置や構造、既に浸水が生じている等の災害発生状況によって【立ち退き避難】の必要性は異なるので、冷静な判断が重要です。

## 洪水

大雨や台風等に伴い、河川が氾濫することにより家屋の浸水・流出等の甚大な被害をもたらします。

## 土砂災害

急斜面や溪流の周辺では、大雨や台風等が引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりが発生するおそれがあります。これらの土砂災害は一瞬にして、生命や財産を奪うなど、甚大な被害をもたらします。

### 台風が接近するなど 大雨が予想される

#### ■洪水注意報・大雨注意報

- 川には近づかない。
- 窓や雨戸等、家の外を確認する。
- 洪水時の避難場所を確認する。
- 非常持出品を点検・準備する。
- 避難の準備をする。

#### ■洪水警報・大雨警報

- 身の危険を感じたら避難する。
- 町が発表する避難に関する情報に注意する。
- 川の水位情報に注意する。

#### 記録的短時間大雨情報

- 身の危険を感じたら避難する
- 町が発表する避難に関する情報に従う。

#### 注意報

#### ■大雨注意報

- がけ等には近づかない。
- 窓や雨戸等、家の外を確認する。
- 土砂災害時の避難場所を確認する。
- 非常持出品を点検・準備する。
- 避難の準備をする。

#### 警報

#### ■大雨警報

- 身の危険を感じたら避難する
- 町が発表する避難に関する情報に注意する。
- 土砂災害の前兆現象を確認した時は避難する。

#### 土砂災害警戒情報

- 身の危険を感じたら避難する
- 町が発表する避難に関する情報に従う。

#### 特別警報

#### ■大雨特別警報

直ちに命を守る行動

町が発表する避難情報に従うなど適切な行動をとる。

<立ち退き避難> or <屋内安全確保>

避難場所等へ避難 2階などの安全な場所

## ■避難に関する3つの情報

※避難した場合は、【黄色いハンカチ等】(P12参照)

### 避難準備・高齢者等避難開始

人的被害の発生する危険性が高まった状況

#### とるべき行動

- 要配慮者など特に避難に時間を要する方は避難を開始
- 家族等との連絡、非常用持出品の用意など避難準備を開始

### 避難勧告

人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況

#### とるべき行動

- 発令された地域の住民は、指定緊急避難場所へ避難を開始

### 避難指示(緊急)

人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況、あるいは人的被害の発生した状況

#### とるべき行動

- 避難中の住民は、直ちに避難を完了
- 避難をしていない住民は、直ちに避難、避難が間に合わない時は命を守る最低限の行動

# 洪水・浸水から身を守る

※二宮町ハザードマップ【洪水浸水予測図】参照

洪水は、河川の流量が異常に増加することによって起こります。一般的には堤防の決壊や河川が氾濫することを洪水と呼び、外水氾濫ともいいます。

浸水は、河川の増水や高潮によって排水がはばまれたり、排水が追い付かず下水溝や用水溝があふれる災害で、内水氾濫ともいいます。

## ■ 大雨に関する情報

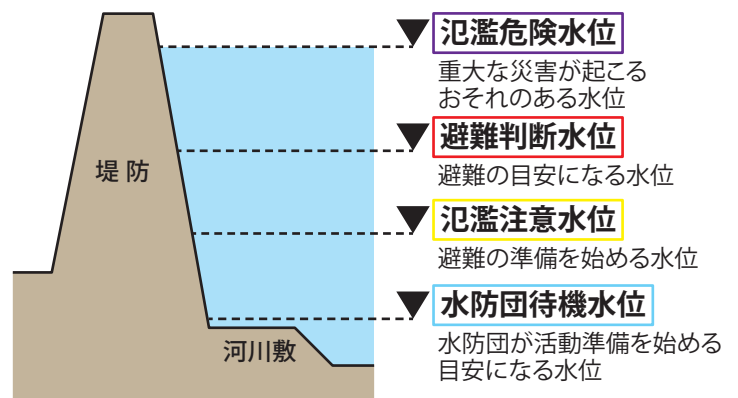
種類		内容	雨量基準
大雨特別警報		台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表	—
記録的短時間大雨情報		大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを知らせるために発表	1時間雨量100mm
警報	大雨警報	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想した時に発表	平坦地 : 1時間雨量40mm 平坦地以外: 1時間雨量45mm
	洪水警報	河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想した時に発表	
注意報	大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予想した時に発表	平坦地 : 1時間雨量25mm 平坦地以外: 1時間雨量30mm
	洪水注意報	河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想した時に発表	

※土砂災害警戒情報: 大雨警報発表中に土砂災害の危険性が高まった場合に発表されます

## ■ 川の水位と氾濫に関する情報

河川の水位が避難の目安となります。水位観測所の水位に応じて、以下の基準が定められています。

種類	河川名 (観測地点)	
	葛川 (塩海橋)	中村川 (坂呂橋)
氾濫危険水位	1.70m	2.10m
避難判断水位	1.10m	1.75m
氾濫注意水位	1.10m	1.40m
水防団待機水位	0.90m	1.05m



# 土砂災害から身を守る

※二宮町ハザードマップ【土砂災害警戒区域】参照

## ■ 2つの警戒区域を知っておこう

土砂災害は自然現象であり、今まで起こらなかったから将来にも起こらないとは限りません。

土砂災害が発生するおそれのある土地の区域について、あらかじめ対策を講じて住民の生命または身体の保護を目的に、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、神奈川県が【土砂災害警戒区域】【土砂災害特別警戒区域】を指定しています。

### 土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

- 土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域として指定されます。
- この区域では、土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように地域防災計画に定められ、警戒避難体制の整備が図られます。

### 土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

- 土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害を生じるおそれがある区域として指定されます。
- この区域では、開発行為の制限、建築物の構造規制や移転勧告等が行われます。

## 自宅の状況を確認しよう!

- 「二宮町ハザードマップ」や神奈川県ホームページを確認し、自宅が土砂災害のおそれがあるかを確認して下さい。
- 土砂災害警戒区域等に該当する方は、避難行動の考え方(P5)や土砂災害が発生した際の指定緊急避難場所を「**二宮町避難所マップ**」で確認して下さい。
- 大雨や雨が何日も続いているような場合は、気象情報等に注意し、早めの避難を心がけましょう。

## ■ 土砂災害の種類と前兆現象

### がけ崩れ

- 斜面の表面に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象。
- 崩れ落ちるまでの時間が短く、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことがあります。

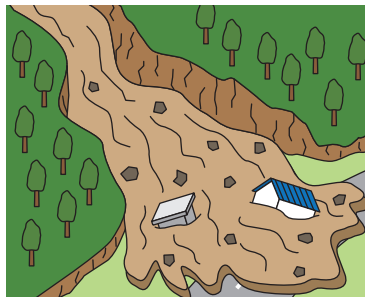


#### こんな前兆現象には注意

- 斜面がひび割れる。
- 小石がばらばら落ちる。
- 木が傾いたり倒れる。
- 木の根が切れる音がある。
- 湧水が止まる、または噴き出る。

### 土石流

- 山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって一気に下流へと押し流される現象。
- 20~40km/hという速度で一瞬のうちに人家や畑等を壊滅させてしまいます。

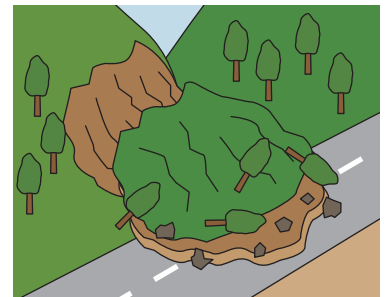


#### こんな前兆現象には注意

- 雨が降り続けているのに、川の水が減る。
- 川が急に濁ったり、流水が混ざりはじめる。
- 木の裂ける音がある。
- 異常なおいがする。

### 地すべり

- 斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象。
- 土塊の移動量が大きいため、甚大な被害が発生することがあります。



#### こんな前兆現象には注意

- 流水や池等が濁る。
- 木の騒ぐ音、裂ける音がある。
- ひび割れ、段差ができる。
- 水が噴き出す。
- 道路等にひび割れ、電柱が傾く。



# 我が家でできる風水害対策

大雨や台風は、テレビやラジオからの気象情報によりある程度予測することができます。  
風水害を抑えるため家の内外で万全の対策を取っておきましょう。

## ■ 家の安全対策

### 屋根

#### 【日頃の備え】

- 瓦のひび・割れ・ずれ・はがれなどがいないか点検
- テレビアンテナに緩みやぐらつきがないか点検
- 車庫や物置などのトタン板が飛ばされないか点検

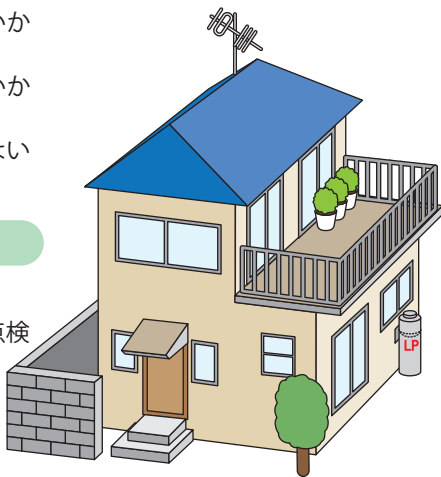
### 塀や庭など

#### 【日頃の備え】

- ブロック塀にひび割れや破損がないか点検
- 側溝や排水溝が詰まってないか点検
- 庭木に支柱を立てて補強
- 住んでいる土地の特徴を把握

#### 【大雨や台風が来る前に】

- 庭の物干し竿や自転車は室内に!
- 崩れそうながけがあれば、ブルーシートなどで覆い、雨の浸透を防止!



### 外壁・ベランダ・窓など

#### 【日頃の備え】

- 壁に亀裂や腐りがないか点検
- 雨戸にガタツキがないか点検
- 雨どいは詰まっていないか点検
- プロパンガスのボンベをしっかりと固定
- 窓ガラスには飛散防止フィルムを貼る

#### 【大雨や台風が来る前に】

- ベランダの植木鉢や物干し竿は室内に!

#### 屋内では

#### 【大雨や台風が来る前に】

- 万一の飛来物に備え、カーテンやブラインドを下ろす!
- テレビやラジオの気象情報に注意!
- 非常持出品の準備!
- 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオを準備!
- 断水に備え、飲料水を確保!
- 浴槽に水を張るなど、生活用水を確保!
- 食料品・衣類・寝具などを高い場所に移動!

## ■ 雨の強さの目安

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子
10以上20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	地面一面に水たまりができる
20以上30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていても濡れる	
30以上50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		傘はまったく役にたたなくなる
50以上80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる		

## ■ 風の強さの目安

10分間平均風速(m/s)	予報用語	およその時速(速さの目安)	人への影響	屋外の様子
10以上15未満	やや強い風	~50km/h(一般道の自動車)	風に向かって歩きにくくなる傘がさせない	樹木全体が揺れる 取り付け不完全な看板等が飛び始める
15以上20未満	強い風	~70km/h(高速道の遅い自動車)	風に向かって歩けない 転倒する人もでる	小枝が折れる ビニールハウスが壊れ始める
20以上25未満	非常に激しい風	~90km/h(高速道の自動車)	しっかりと体を確保しないと 転倒する	飛来物で窓ガラスが割れる
25以上30未満		~110km/h(高速道の速い自動車)	立ってられない 屋外での行動は危険	ブロック塀が壊れる 取り付け不完全な外装材が飛び始める
30以上	猛烈な風	110km/h~(特急列車)		

# 避難に関する知識

災害の種類や規模により避難する場所は異なります。

「二宮町避難所マップ」「二宮町ハザードマップ」を確認し、どこに避難すればよいかを確認しておきましょう。

## ■ 災害ごとの避難行動

### 地震



※火災・家屋倒壊などの危険が発生

一時避難場所  
広域避難場所  
地域で決められた場所

「大津波警報」「避難勧告」が発令された場合  
(津波浸水のおそれがある場所)

海から離れた高台  
指定緊急避難場所【津波】

一時避難場所では危険な場合や  
「避難勧告」が発令された場合

指定緊急避難場所  
【地震・大規模火事】

自宅が被災し住めない場合

指定避難所

### 風水害



※浸水・土砂災害など危険を感じた場合

優先①安全な親戚・知人宅  
優先②一時避難場所・広域避難場所  
優先③屋内安全確保

「洪水警報」「土砂災害警戒情報」「避難勧告」  
が発令された場合

指定緊急避難場所  
【洪水】【崖崩れ】

要配慮者が多い場合

福祉避難所

※指定緊急避難場所・指定避難所とは  
災害対策基本法に基づき、広域避難場所・広域  
避難所のうち、より安全な施設を指定緊急避難  
場所・指定避難所として指定しています。詳しく  
は「二宮町避難所マップ」をご確認下さい。

## ■ 避難所等の定義

### いつとき 一時避難場所

- 一時的に避難することができる場所
- 災害の種類によっては避難場所として適さないこともあるため、「二宮町避難所マップ」を確認して下さい

### 広域避難場所

- 大規模な災害から避難することができる場所
- 災害の種類によっては避難場所として適さないこともあるため、「二宮町避難所マップ」を確認して下さい

### 広域避難所

- 避難生活ができる場所
- 災害や被害の状況に応じ、適宜施設を開設します
- 発災直後は開設しません
- 開設する広域避難所は町から連絡します

### 福祉避難所

- 要配慮者が避難生活できる場所
- 広域避難所への避難状況等を勘案し、要配慮者の状況により、順次開設します(発災直後は開設しません)

災害時も  
自宅で生活することが  
目標です

- 避難所で生活を続けていくことは、大変不自由なことです。ストレスや過労から体調を崩してしまうこともあります。
- 自宅だとプライバシーが守れるなど、精神的な負担も少なくなるので、自宅が安全なら、住み慣れた自宅に戻り生活を続けましょう。

# 地震の時の避難

## ■ 避難を判断する際のポイント

### 倒壊等のおそれがあるとき

自宅が倒壊するおそれがあるとき、もしくは倒壊したとき

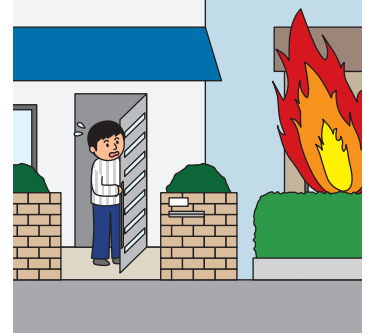


### 火災が拡大したとき

自宅で火災が発生し、火が天井まで燃え移ったとき



近隣で火災が発生し、延焼するおそれがあるとき



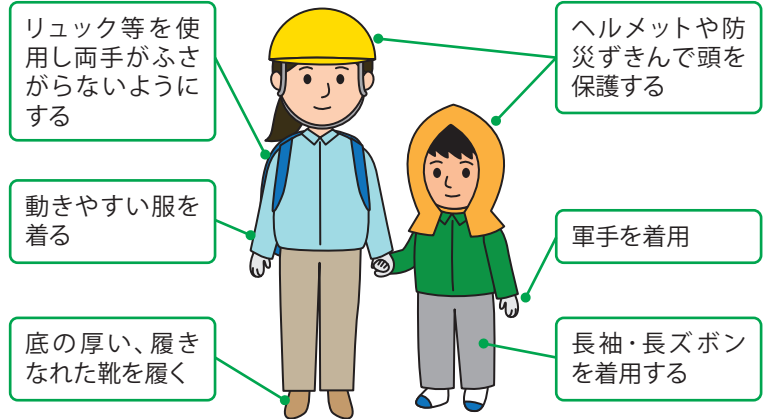
## ■ 避難するときは

※避難した場合は、【黄色いハンカチ】(P12参照)

### 避難の心得

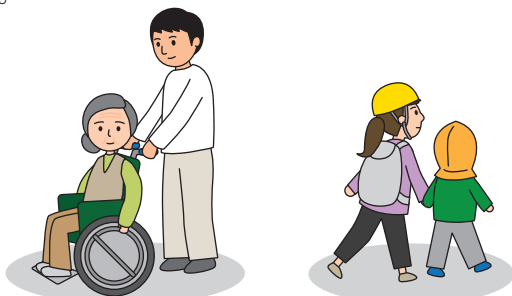
- ①火元を確かめ、ブレーカーを切る
- ②ヘルメット等で頭を保護
- ③荷物は最小限
- ④外出中の家族に連絡メモを残す
- ⑤避難は原則徒歩で
- ⑥高齢者・子どもの手はしっかり握る
- ⑦近所の人たちと集団で、決められた集合場所に移動
- ⑧移動する際は、狭い道・塀ぎわ・川べり等を避ける
- ⑨安全を最優先し、最寄りの避難場所へ

### 避難するときの服装



## 避難するときのルール

- 避難するときは、混乱防止のため、決められたルールと秩序を守り、お互いに協力しあうことが大切です。特に乳幼児、高齢者、身体の不自由な人を安全に避難させるために日頃から十分な対策を立てておきましょう。



- 地震発生後、車で避難すると、避難場所やその周辺等が車で混雑し、かえって避難が遅れます。様々な活動の妨げになるので、車での避難は絶対にやめましょう。

### 運転中に地震が起きたら

- ①道路の左側に車を停止。
- ②揺れがおさまるまで冷静に状況を確認し、カーラジオで情報を収集。
- ③避難が必要なときは、エンジンを切り、鍵は差したままドアロックもしない。車検証などの貴重品を持ち出し徒歩で避難。

# 風水害のときの避難

## ■ 避難に対する基本的な考え方

※危険を感じたらすぐ避難

近年、台風等の大雨により逃げ遅れた住民が被害を受けるケースが多くあります。特に突発的な集中豪雨では、町の避難に関する情報が間に合わない場合もあるため、危険を感じた時には、自らが判断し、避難行動をとる必要があります。

風水害では、事前に気象情報等を入手することができるため、正しい情報の入手と早めの避難行動をとることがとても重要です。

### 優先①

早めに安全な  
【親戚・知人宅】へ避難

### 優先②

町が指定する  
【一時避難場所】  
【広域避難場所】へ避難

### 優先③

避難することが、  
かえって危険な時には  
【屋内安全確保】

## 屋内安全確保とは

- 大雨の時には、上記の優先①・優先②のように早めに安全な場所へ避難する【立ち退き避難】が原則です。
- しかしながら、夜間や急な大雨等で家の外に避難することがかえって危険なときは、【屋内安全確保】(がけや川から離れた2階以上の部屋で安全を確保する)など、命を守る最低限の行動をとることが重要です。



## ■ 避難を判断する際のポイント

※避難した場合は、【黄色いハンカチ】(P12参照)

### 大雨時は早めの避難

がけ下や溪流沿い等に住んでいる人は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された時には、早めに近くの避難場所などの安全な場所に避難しましょう。



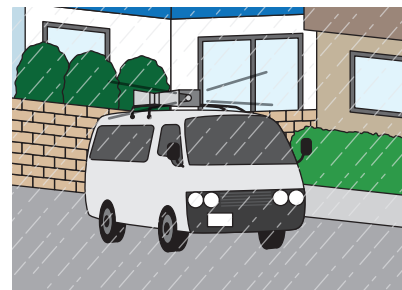
### 暗くなる前に避難

夜間に大雨が予測される際には、暗くなる前に避難することがより安全です。特に高齢者等の避難行動要支援者がいる場合には、移動時間を考えて早めに行動しましょう。



### 避難に関する情報が発令

町の防災行政無線や安全安心メールのほか、広報車や消防車から呼びかけますので、速やかに避難して下さい。



## 避難の心得

- ①避難する時は、ひもで締められる運動靴(長靴は中に水が入り動きにくくなります)。
- ②はぐれないよう、互いの身体をロープで結んで避難。子どもからは目を離さない。
- ③歩ける深さは50cmが目安で、流速がある場合、足のくるぶし以上の水量があると流されるおそれがあります。このような場合は、無理をせず、高所で救助を待ちましょう。
- ④水面下には、ふたの脱落したマンホール、側溝、段差など危険が多いので、長い棒を杖がわりにして、安全を確認しながら歩きましょう。

# 避難の際には

## ■ 要配慮者等への心くばり

要配慮者(一人暮らしや寝たきりなどの高齢者、身体的・知的な障がい有する人など)に対する援助も必要となります。

要配慮者は、災害が発生した場合、情報把握、避難、生活の確保などの活動を、的確かつ迅速に行いにくい立場に置かれてしまいます。

私たち一人ひとりがお互いに協力しあい、地域が一丸となって積極的な支援を行えるよう心がけましょう。

### 高齢者 傷病者

- 援助が必要なときは、複数の人で対応する。
- 急を要するときは、ひもなどで背負い、安全な場所まで避難する。

### 耳が 不自由な人

- 話しをするときは、まっすぐ顔を向け、口はなるべく大きく動かして話す。
- 筆談は、手のひらに指先で文字を書くやり方でもOK。

### 肢体の 不自由な人

- 車いすは、階段では3~4人(最低でも2人)で援助する(上がる時は前向き、下がる時は後ろ向きにし、恐怖感を与えない)。
- とっさの脱出・避難の際に、避難行動要支援者1人に対して、救援者が2人以上いるとは限りません。ひもなどで背負い救援者の両手は自由がきくようにする。

### 目が 不自由な人

- 杖を持った方の手はとらない。
- 手先や手首を持たず、ひじのあたりに軽く触れゆっくり歩く。
- 方向や目の前の位置などは、時計の文字盤の位置を想像して伝える。

### 外国人

- とっさの時には、身振りや手振りで話しかけ、孤立させないようにする。

## ■ 黄色いハンカチは、「我が家は大丈夫」と知らせる目印

大規模な災害が発生した後、救助などの必要がない場合、また避難をした場合には、道路から見える目立つ場所に【黄色いハンカチ】等を掲げて下さい。 ※地区により異なりますのでご確認下さい。

### なぜ「黄色いハンカチ」? どこに掲げればよい?

- 「黄色いハンカチ」を掲げることで、救助活動が必要か否かの判断を行いやすく、一人でも多くの方を救出することが可能となります。
- 自宅の玄関先の形状に合わせ、門扉に掛けたり、郵便受けに挟んだり、外から見てわかりやすい場所に掲げて下さい。

黄色いハンカチを掲げるタイミング

震度5強以上の時

警報発令時

避難をした時

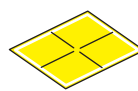


### 「黄色いハンカチ」を準備

黄色いもので玄関や門に掲げられるものであれば、何でも構いません。



タオル



ハンカチ



はぎれ



手ぬぐい



Tシャツなど

# 地域ぐるみで防災対策

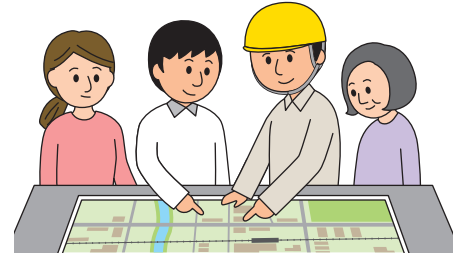
大規模な災害発生時には、自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の考え方を基本に、町民一人ひとりが対応することが重要です。

## ■ 自主防災組織とは

町は大規模災害発生時、「二宮町災害対策本部」を開設しますが、大規模な災害に見舞われると、交通障害や同時多発する火災等への対応から、公的な支援能力は著しく低下してしまいます。発災直後の人命救助や初期消火活動など、個人や家庭の力だけでは、限界があるため被害の拡大を防ぐには、地域住民が力をあわせて対応していくことが重要です。

そこで、地域の人々が自主的に防災活動を行う【自主防災組織】が必要となります。

町では、自主防災組織の育成と防災対策の充実を図るため、「自主防災組織活動マニュアル作成の手引き」や自主防災組織で実施する防災訓練の支援制度を設けております。



## ■ 自主防災組織の役割と活動

### 平常時の 主な活動

#### ◆防災訓練の実施

情報収集・伝達訓練、初期消火訓練、救出・救援訓練、避難誘導訓練、避難所運営訓練、給食・給水訓練、避難行動要支援者訓練等

#### ◆防災知識の普及

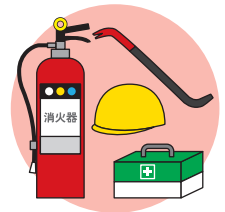
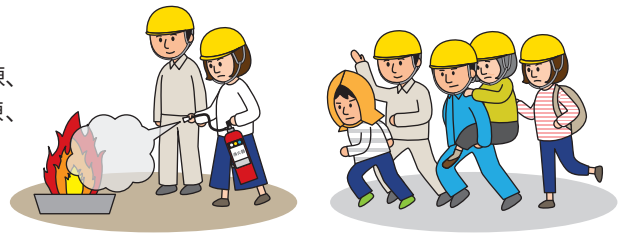
地区防災マップの作成、防災講習会、地区のお祭等での防災イベントの実施等

#### ◆防災点検・防災巡視

各家庭の防災用品の点検、防災倉庫の備品や消防水利の確認、燃えやすい物の放置状況、ブロック塀・石垣・看板・自動販売機等の倒れやすい物の点検等

#### ◆防災資機材の整備

ヘルメット・消火器・バール・ジャッキ等の作業道具、非常食、救急医療品等の防災資機材や備蓄品の管理等



### 災害時の 主な活動

#### ◆初期消火活動

消火器、消防水利の確保、バケツリレー等による初期消火活動



#### ◆救出活動

負傷者や倒壊した家屋等の下敷きになった人たちの救出・救助活動



#### ◆救護活動

負傷者の応急手当、救護所への搬送等



#### ◆情報の収集・伝達

町や住民との連絡を取り合い、安否情報や災害に関する正しい情報を収集・伝達

#### ◆避難所の開設・運営への協力・支援

##### 【避難所開設関係】

避難所施設の状況確認への協力や避難者誘導・受入、避難者の居住場所と業務の割り振り等の避難所開設に関する支援

##### 【食料・物資関係】

備蓄食料や救援物資等の避難所への運搬及び配布・炊き出し等の協力

##### 【衛生管理】

水の確保、トイレの清掃、ゴミの搬出・保管、施設内の清掃等

# いざという時の連絡先など

## ■ 災害時に家族と連絡がとれない場合には

毎月1・15日は、「災害用伝言ダイヤル171」が体験利用できます

### 災害用 伝言ダイヤル 「171」

※携帯電話・PHSからも  
利用できます  
(一部の事業者を除く)

#### 伝言を録音する

171

1

被災地内の固定電話の番号  
携帯電話・PHSの番号

- ①「171」をダイヤル
- ②音声案内に従い、「1」をダイヤル
- ③自分の安否について、家族や知人が聞く可能性の最も高い電話番号(例えば自宅の電話番号)を必ず市外局番(0\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*)から順にダイヤルし、音声案内に従って安否等のメッセージを録音して下さい

#### 伝言を再生する

171

2

被災地内の固定電話の番号  
携帯電話・PHSの番号

- ①「171」をダイヤル
- ②音声案内に従い、「2」をダイヤル
- ③連絡を取りたい相手先の電話番号を必ず市外局番(0\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*)から順にダイヤルして下さい

### 災害用 伝言板

※携帯電話のWEBサイトの  
トップ画面からアクセ  
スして利用します

#### 伝言の登録

- ①トップ画面の「災害用伝言板」を選択
- ②画面が表示されたら、「登録」を選択
- ③自由にコメントを入力
- ④その画面で「登録」を選択
- ⑤伝言の登録が完了

#### 伝言の確認

- ①トップ画面の「災害用伝言板」を選択
- ②画面が表示されたら、「確認」を選択
- ③相手の携帯電話番号を入力
- ④その画面で「検索」を選択
- ⑤伝言の検索結果が表示

## ■ 主要施設の電話番号

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 二宮町役場 … 0463-71-3311      | <input type="checkbox"/> 平塚水道営業所 … 0463-22-2711 |
| <input type="checkbox"/> 二宮町消防本部(署) … 0463-72-0015 | <input type="checkbox"/> 東京電力 … 0120-99-5778    |
| <input type="checkbox"/> 大磯警察署 … 0463-72-0110      | <input type="checkbox"/> 小田原ガス … 0465-34-6101   |
| <input type="checkbox"/> 平塚土木事務所 … 0463-22-2711    | <input type="checkbox"/> NTT東日本 … [固定電話] 113    |
| <input type="checkbox"/> 平塚保健福祉事務所 … 0463-32-0130  | … [携帯電話・PHS] 0120-444-113                       |

## ■ 災害情報等メール配信サービス(Twitter・安全安心メール)

### Twitter

「災害時の緊急情報」「防災行政無線情報」「防犯など安全安心情報」を、従来のメール配信より迅速かつ、リアルタイムで配信しています。

【アカウント】@ninomiyabousai  
二宮町防災・安全安心情報  
<https://twitter.com/ninomiyabousai>



※安全で安心して暮らせる町づくりのため、ご登録(7ヵ月)よろしく申し上げます

### 安全安心メール

災害発生時に、いち早く情報を提供すべく、湘南ケーブルネットワーク(SCN)の協力のもと、メール配信サービスを行っています。

PC版 <http://scn-net.easymyweb.jp/pocket/>  
携帯版 <http://scn-net.easymyweb.jp/pocket/k/>

※受信するためには、事前登録(無料)が必要です

## ■ 災害情報等(PCホームページアドレス)

- |   |           |
|---|-----------|
| <input type="checkbox"/> 二宮町 … <a href="http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/">http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/</a>  | 二宮町ホームページ |
| <input type="checkbox"/> 気象庁 … <a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>  |           |
| <input type="checkbox"/> 横浜地方気象台 … <a href="http://www.jma-net.go.jp/yokohama/">http://www.jma-net.go.jp/yokohama/</a>  |           |
| <input type="checkbox"/> 国土交通省防災情報提供センター … <a href="http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/">http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/</a>  |           |
| <input type="checkbox"/> 神奈川県災害情報 … <a href="http://www.pref.kanagawa.jp/sys/bsi/portal/6.html">http://www.pref.kanagawa.jp/sys/bsi/portal/6.html</a>   |           |
| <input type="checkbox"/> 神奈川県雨量水位情報 … <a href="http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/index.html">http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/index.html</a> |           |
| <input type="checkbox"/> 神奈川県土砂災害情報 … <a href="http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html">http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html</a>             |           |

# 防災チェックシート

## ■ 避難場所・避難所

二宮町避難所マップで避難場所等を確認し、記入しておきましょう。

一時避難場所	津波	地震・大規模火事	洪水	崖崩れ
指定緊急避難場所 (広域避難場所)	津波	地震・大規模火事	洪水	崖崩れ
指定避難所 (広域避難所)				
福祉避難所				
自主防災組織 災害時地区本部				

※避難所での生活は、ストレスや過労から体調を崩すこともあります。自宅が安全なら、住み慣れた自宅に戻り、生活を続けましょう。

## ■ 非常持出品

### 1次持出品リスト 避難するときに最初に持ち出すもの

あまり欲張りすぎないことが大切です(男性15kg・女性10kg程度が目安)

<input type="checkbox"/> 貴重品	現金(小銭も準備)、通帳類、証書類、身分証明書、健康保険証、免許証、印鑑等。
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	停電に関係なく、正確な情報を得るための必須アイテム。 小型で軽く、FMとAM両方聴けるものを用意。予備電池も多めに用意する。
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	できれば1人1つを用意。予備の電池と電球も用意。
<input type="checkbox"/> 救急薬品	ばんそうこう、ガーゼ、包帯、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、風邪薬、鎮痛剤、とげぬき等。 ※持病のある人は常備薬も忘れずに!
<input type="checkbox"/> 非常食・飲料水	カンパンや缶詰等、火を通さなくても食べられるもの、飲料水、水筒、紙皿、コップ、ナイフ、缶切り、栓抜き、はし、スプーン、フォーク等。
<input type="checkbox"/> その他	下着、上着、靴下、ハンカチ、タオル、ティッシュペーパー、ビニールシート、予備の老眼鏡。 ※乳幼児がいる場合:ミルク、ほ乳ビン、おむつ、バスタオル等。

### 2次持出品リスト ライフライン復旧までの数日間を自活するためのもの(最低3日、できれば1週間分)

<input type="checkbox"/> 食料品	そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。 缶詰やレトルト食品、切り餅、チョコレート、梅干、チーズ、調味料等。 ※アレルギーの方:アレルギーフリーの備蓄食。
<input type="checkbox"/> 水	飲料水は大人1人あたり1日3リットルが目安。 飲料水以外に炊事、洗濯、トイレ等に使う生活用水確保のため、風呂の栓は抜かず、寝る前はやかんやポットに水を入れておく。
<input type="checkbox"/> 燃料・その他	卓上コンロ、固形燃料や予備のガスボンベは多めに用意(アウトドア用の携帯コンロも便利)。 携帯(簡易)トイレ、生理用品、ビニール袋、キッチン用ラップ、新聞紙、携帯電話の充電器、使い捨てカイロ、車から100Vを取れるインバーター等。